

英語コミュニケーション学科の新カリキュラム始動！ Global Study Program

英語コミュニケーション学科では、新しいカリキュラムが昨年度始まり、今年度より実習・研修科目「Global Study Program」が動き出しました。実際に学外に出たり、学外とオンラインで繋がりながら英語を使い、グローバルな体験ができる10を超えるプログラムが設置され、学生はそこから自由に選択することができます。

Global Study Programの一例

- 6カ月～1年間の留学
- Teaching English to Younger Learners
- 西アフリカの小学生と絵本作成
- 海外インターンシップ(空港、孤児院)
- ANA総合研究所提供のプログラム
- ANAエアラインスクール学内講座

ピックアップ

教育連携協定を締結しているANAビジネスソリューション株式会社と開催。今年度よりGlobal Study Program内の1つとして正規授業で実施されます。4月に行われた講座説明会では、現役の客室乗務員である講師が登場し、受講を希望する学生のみなさんは真剣そのものでした。



ANAエアラインスクール学内講座説明会の様子

東京家政大学×ANA 航空業界を目指す学生必見！ ANA総研による授業 ●全学科対象

人材育成などを担う株式会社 ANA 総合研究所による授業が履修できます。航空業界への理解をより一層深め、専門分野で役立つ力を養います。

国際航空業概論を取材！

第5回目の授業内容は、予約部門と営業部門の業務内容についてグループワークを行い「1日2万件以上の問合せが入ることもある総合コンタクトセンターで求められる役割とは？」「IT技術の進化など時代に合わせて変化する中、機械やAIではなく人にしかできないことは？」をテーマに、顧客とのコミュニケーションについて活発な話し合いが行われました。販売・営業では、観光誘致における地方創生事業との繋がりや、色々な発想で考える企画力の重要性を学んでいました。



産学連携事業

ヒューマンライフ
支援センター



マリフーズ株式会社との連携

「海鮮丼総選挙・舞台裏」

7月に「推し海鮮丼総選挙」を開催しました。多数のご参加ありがとうございました。総数で2,700票以上が投げられ、学内に2か所設置した投票所では学生の盛り上がる声が聞かれました。

エントリーした学生10名のオリジナル海鮮丼は、マリフーズ株式会社本社で2回に渡る試作ブラッシュアップを経て完成した「努力の賜物」です。商品開発の最前線で活躍するマリフーズ社員さまと、味や食感、見た目のみならず、売価や値入率、スーパーでの調理オペレーションを考えながらのブラッシュアップは、とても貴重な経験になりました。



試作ブラッシュアップ

学内での投票の様子

「商品開発「+ IPPIN」」

8月からプロジェクト第2弾として、海鮮を使った惣菜食品「+ IPPIN」の商品開発がスタートしました。説明会では市販商品の試食や商品開発に関する勉強会・ワークショップを行いました。今後はグループ単位でのディスカッションなどを行い、複数人での開発スタイルを学びながら進行していきます。



「+ IPPIN」商品開発説明会(8月)

昭和産業グループとの連携

「たまごのある暮らし・試作・検討会」

今年は「世界のジャンル別たまご料理」をテーマに、和・洋・中・その他合わせて54もの考案レシピの応募がありました。作りやすさ、新規性、見た目、創意工夫の3つの審査基準で8つのレシピが選定されました。昭和産業株式会社、昭和鶏卵株式会社、峯木真知子先生、土屋京子先生、内野美恵先生全面協力の下、7月の試作・検討会、9月の最終講評会を経てオリジナルレシピが完成しました。レシピは来年度、昭和鶏卵株式会社の鶏卵商品「たまごのある暮らし」のパッケージに掲載されて販売予定です。



試作・検討会(7月)

Unique Recipe ～学生アイデアレシピ～

ヒューマンライフ支援センターが行う、さまざまな産学連携事業の中で栄養学を学ぶ学生が考案したレシピを紹介します。



長南町のおいしさギョウ!!とパエリア



ほっこり豆乳スープ



サブインミー



HP



Instagram